

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200080		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心いちたけ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字市武1234番地		
自己評価作成日	平成26年2月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成26年3月10日	外部評価確定日	平成26年4月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

協力医療機関及び訪問看護ステーションとの連携により、入居者様の健康管理・医療連携体制を強化している。また、当法人の事業目的及び運営方針の他に、事業所独自の理念を掲げ、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間での意識統一を図っている。さらに、入居者様の自立支援を目的とした食事作りやおやつ作りなどのレクリエーションを毎月実施すると共に、ご家族様参加の夕食レクや地域の小学校や保育園の学生(園児)にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただく等の地域との交流にも力を入れている。毎月の請求書にレクリエーションや行事に参加された入居者様の様子の写真を同封させていただき、ご家族様への情報発信並びにご家族様との信頼関係作りにも力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はみやき町の南部に位置し、国道264号線と坊所～城島線と交差する江見バス停に近く、町の支所や公民館・グラウンド・神社・歯科医院等が有り、利便性の良いホームである。広い敷地に建てられた2階建のホームのリビングは、日当たりの良い南側に設えてあり、見晴しもよく心地良く過ごせる環境である。又、壁際には神棚を設置し、小さな六地藏様を置いてあり、心和む雰囲気である・法人母体の病院の理学療法士による入居者の残存機能の維持向上を図るため、機能回復訓練を協力病院にて実施しており、健康管理・医療連携体制を強化している。又、職員の自助努力を喚起する為、施設間の稼働率チャレンジ表彰等実施して職員の連帯意識の高揚とモチベーションアップを図っている。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当法人の事業目的及び運営方針の他に、事業所独自の理念を構築し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一を図っている。	当法人の事業目的及び運営方針の他に、事業所独自の理念を構築し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一を図っている。	事業所独自の理念である「入居者の希望が叶い、心地良い空間の中で目的や楽しみを感じて戴く」を理念に毎日の朝礼時に唱和をして、職員間の意識統一を図り、ケアで実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小学校や保育園の学生(園児)にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただいたり、夏祭りには地域住民の方々にもご参加いただく等、地域との交流を図っている。また、日々の買い物は入居者様と一緒に近くのスーパーを利用させていただいている。	地域の小学校や保育園の学生(園児)にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただいたり、夏祭りには地域住民の方々にもご参加いただく等、地域との交流を図っている。また、日々の買い物は入居者様と一緒に近くのスーパーを利用させていただいている。	地域の自治会にも加入しており、ホームの夏祭りには地域の方の参加もしていただいている。小学校4学年の訪問や隣接の保育園児のクリスマス会の歌や踊りのプレゼントで交流をしている。日々の買い物にも近くのスーパーに出掛けている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて、地域の方々や行政職員へ自立支援を目的とした取り組み内容の報告を行い、認知症の方々の理解や支援の方法に活用している。				
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者様の状況や行事等の計画・報告を行っている。地域の方々や行政職員・ご家族様よりいただいたご意見を職員へ伝達し、サービス向上に努めている。	運営推進会議では、入居者様の状況や行事等の計画・報告を行っている。地域の方々や行政職員・ご家族様よりいただいたご意見を職員へ伝達し、サービス向上に努めている。	運営推進会議では入居者の状況や行事等の計画や報告を行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、地域の理解と支援を得るための貴重な機会でもあることから、今後は更に、地域の区長や民生委員等の出席要請を図られる事を期待したい。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域市町村圏組合や地域包括支援センターとの情報交換を行うと共に、地域ケアマネネットワーク会議に出席し、当事業所のケアサービス事例の発表等を通じて、協力関係を築けるように努めている。	鳥栖広域市町村圏組合や地域包括支援センターとの情報交換を行うと共に、地域ケアマネネットワーク会議に出席し、当事業所のケアサービス事例の発表等を通じて、協力関係を築けるように努めている。	運営推進会議には地域包括支援センター職員の出席があり、情報交換を密に行い指導も受け、地域ケアマネネットワーク会議にも出席している。又、運営推進会議の会議録を介護保険組合に提出し、協力関係の構築に努めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、カンファレンス等を通じて職員間の共通認識の確認に努めている。夜間の入居者様の安全確保以外の施錠は実施していない。	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、カンファレンス等を通じて職員間の共通認識の確認に努めている。夜間の入居者様の安全確保以外の施錠は実施していない。	職員は身体拘束の弊害について研修を重ねて十分理解しており、カンファレンス等を通じて共通認識の確認に努めている。昼間玄関の施錠もされておらず見守りで支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する研修に参加すると共に、施設内での勉強会を通じて、職員間の情報伝達を行っている。	2014/4/9			

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、学ぶ機会はあるが全職員が共通認識をもつ為に、施設内勉強会を通じて学ぶ必要がある。	外部研修に参加し、学ぶ機会はあるが全職員が共通認識をもつ為に、施設内勉強会を通じて学ぶ必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に要望BOXを設置すると共に、契約時に相談窓口の説明及び掲示を行っている。また、ご家族様の面会時には希望や要望をお聞きすると共に、夏祭りや敬老会等の開催後には、アンケートを収集し運営に反映させている。	施設内に要望BOXを設置すると共に、契約時に相談窓口の説明及び掲示を行っている。また、ご家族様の面会時には希望や要望をお聞きすると共に、夏祭りや敬老会等の開催後には、アンケートを収集し運営に反映させている。	家族の面会時や電話の折には意見や要望を聴くようにしている。運営推進委員会にも出席して貰っており、夏祭りや敬老会等の開催後にはビデオレターを鑑賞してアンケートを収集して、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや個人面談を定期的に行い、各職員の意見や提案を運営に反映できるように取り組んでいる。	カンファレンスや個人面談を定期的に行い、各職員の意見や提案を運営に反映できるように取り組んでいる。	管理者は毎月1回行う職員会議で意見や要望等聴いている。事業所内で解決できない意見や要望等については、法人内の管理者会議で提案し、運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自の就業状況を把握し、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りに努めている。また、外部研修には勤務内で参加できるように取り計らっている。	職員各自の就業状況を把握し、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りに努めている。また、外部研修には勤務内で参加できるように取り計らっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修会や講演会の情報を全職員へ伝達すると共に、職員個々のケアの実際や力量に合った研修への参加を勤務内で参加できるように取り組んでいる。	法人内外の研修会や講演会の情報を全職員へ伝達すると共に、職員個々のケアの実際や力量に合った研修への参加を勤務内で参加できるように取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の別施設での勉強会へ参加し、相互訪問等の活動を推進すると共に、地域ケア会議や地域ケアマネネットワーク会議等に出席し、同業者と交流する機会を作れるよう取り組んでいる。	法人内の別施設での勉強会へ参加し、相互訪問等の活動を推進すると共に、地域ケア会議や地域ケアマネネットワーク会議等に出席し、同業者と交流する機会を作れるよう取り組んでいる。		

自己 外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様1人ひとりに担当者を配置し、担当職員が入居者様個人のアセスメントを行いながら困っていることや不安なこと、要望等に耳を傾け、より良い支援を提供することができるよう全職員で協議している。	入居者様1人ひとりに担当者を配置し、担当職員が入居者様個人のアセスメントを行いながら困っていることや不安なこと、要望等に耳を傾け、より良い支援を提供することができるよう全職員で協議している。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にご家族様の意見や要望を十分にお聞きし、ご家族様の意見を反映することができるように努めている。	契約時にご家族様の意見や要望を十分にお聞きし、ご家族様の意見を反映することができるように努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人様とご家族様との話し合いを設け、情報収集を十分に行い、介護サービスの利用を開始する段階で、双方が最も必要としている支援を管理者やケアマネージャーを中心に職員間で協議している。	入居前に本人様とご家族様との話し合いを設け、情報収集を十分に行い、介護サービスの利用を開始する段階で、双方が最も必要としている支援を管理者やケアマネージャーを中心に職員間で協議している。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が発案し、食事作りやおやつ作りなどを通じて、入居者様に教えていただきながら暮らしを共にする者同士の関係作りに努めている。	職員が発案し、食事作りやおやつ作りなどを通じて、入居者様に教えていただきながら暮らしを共にする者同士の関係作りに努めている。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時及びその都度、電話にて入居者様の状態報告を行うと共に、ご家族様の意見をお聞きし、共に本人様を支えていく関係作りに努めている。	ご家族様の面会時及びその都度、電話にて入居者様の状態報告を行うと共に、ご家族様の意見をお聞きし、共に本人様を支えていく関係作りに努めている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、施設近くにお住まいの方は近所を散歩したり等、これまでの関係が途切れないように支援している。	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、施設近くにお住まいの方は近所を散歩したり等、これまでの関係が途切れないように支援している。	地域からの入居者には、家族や友人の面会も多く、遠方からの入居者は手紙や電話での交流も頻繁にされている。又、週1回は家族と外食を楽しんだり、1階の入居者が2階へ訪問し、友人同士童謡唱歌と一緒に歌って楽しんでいる。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事作りやおやつ作りなどを通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めている。	食事作りやおやつ作りなどを通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了(退居)後も施設行事への参加を促したり、継続的に連絡を行うように努めている。	サービス利用終了(退居)後も施設行事への参加を促したり、継続的に連絡を行うように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のアセスメントを通じて、本人様及びご家族様へ現在の思いや暮らし方の希望をお聞きし、双方の意向に沿った支援を職員間で検討し、情報の共有に努めている。	日々のアセスメントを通じて、本人様及びご家族様へ現在の思いや暮らし方の希望をお聞きし、双方の意向に沿った支援を職員間で検討し、情報の共有に努めている。	日々のケアの中で入居者とゆっくり触れ合い一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は家族の希望を聞き、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や入居後のアセスメントを通じて、本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等の情報を把握し、職員間での情報の共有に努めている。	入居時や入居後のアセスメントを通じて、本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等の情報を把握し、職員間での情報の共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼時の申し送りや申し送りノートを活用し、全職員が日々の入居者様の状態把握、情報の共有に努めている。	朝礼時の申し送りや申し送りノートを活用し、全職員が日々の入居者様の状態把握、情報の共有に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を通じて、本人様並びにご家族様の意向をお聞きすると共に、モニタリングを実施し、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	サービス担当者会議を通じて、本人様並びにご家族様の意向をお聞きすると共に、モニタリングを実施し、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	ケアプランは本人や家族の希望や意向を反映しサービス担当者会議に諮り、モニタリングを実施し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果・気づきを個人記録及び支援経過記録に記録すると共に、業務日誌や申し送りノートを活用して、職員間での情報の共有に努めながら介護計画書の見直しを実施している。	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果・気づきを個人記録及び支援経過記録に記録すると共に、業務日誌や申し送りノートを活用して、職員間での情報の共有に努めながら介護計画書の見直しを実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の状況や要望に応じて、通院や外出の介助を行っている。また、医療連携体制を活かして、入居者様の健康管理や終末期の看取り等、柔軟な支援に努めている。	本人様やご家族様の状況や要望に応じて、通院や外出の介助を行っている。また、医療連携体制を活かして、入居者様の健康管理や終末期の看取り等、柔軟な支援に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様との買い物時は近所のスーパーを利用し、買い物へ行かれる入居者様が特定化しない為に、チェック表を作成する等、全入居者が心身の力を発揮しながら豊かな暮らしを楽しむことができるように努めている。	入居者様との買い物時は近所のスーパーを利用し、買い物へ行かれる入居者様が特定化しない為に、チェック表を作成する等、全入居者が心身の力を発揮しながら豊かな暮らしを楽しむことができるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設見学時や契約時に、かかりつけ医の確認を行うと共に、協力医療機関による在宅総合診療のご説明を行い、本人様及びご家族様の希望をお聞きした上で、適切な医療を受けられるように努めている。	施設見学時や契約時に、かかりつけ医の確認を行うと共に、協力医療機関による在宅総合診療のご説明を行い、本人様及びご家族様の希望をお聞きした上で、適切な医療を受けられるように努めている。	入居前のかかりつけ医の受診を支援している。希望すれば協力医療機関による在宅総合診療が2週間に1回、訪問看護ステーションの看護師の訪問が週1回、協力医療病院での理学療法士のリハビリ診療が週3回受診できる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの医療連携体制をとっており随時、入居者様の状態報告を行い、入居者様の健康管理に十分な配慮を行っている。	訪問看護ステーションとの医療連携体制をとっており随時、入居者様の状態報告を行い、入居者様の健康管理に十分な配慮を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関(主治医や看護師長)との連携及び情報交換を密に行い、早期退院に向けた協議を積極的に行っている。また、入居者様が入院された際には、不安を緩和できるように随時、面会を行っている。	医療機関(主治医や看護師長)との連携及び情報交換を密に行い、早期退院に向けた協議を積極的に行っている。また、入居者様が入院された際には、不安を緩和できるように随時、面会を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される方針を決め、職員間での情報の共有と支援に努めている。	入居契約時に重度化や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される方針を決め、職員間での情報の共有と支援に努めている。	入居契約時に重度化や終末期に向けた方針の説明をしている。又、状態に応じ家族や主治医と協議し希望される方針で支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、全職員がマニュアルに沿って対応ができるように日々、共通認識の確認を行っている。	緊急時マニュアルを作成し、全職員がマニュアルに沿って対応ができるように日々、共通認識の確認を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署職員及び消防設備会社立会いのもと、年2回の消防訓練を実施し、消防署への通報や入居者様の避難誘導の確認を行っている。地域住民の方々へ訓練参加を呼びかけている。	消防署職員及び消防設備会社立会いのもと、年2回の消防訓練を実施し、消防署への通報や入居者様の避難誘導の確認を行っている。地域住民の方々へ訓練参加を呼びかけている。	年2回消防署の立会いと消防設備会社の立会いの下で、消火訓練や避難訓練等を行っている。又、福岡の病院火災を踏まえて毎月1回防災チェック(コンセント配線等)も行っている。	

自己 外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会を通じて、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわないように留意して支援している。	勉強会を通じて、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわないように留意して支援している。	入居者を人生の先輩として敬い、節度を持って接するように心がけている。日々のケアでもプライバシーを損ねない様に留意して支援している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様各々が自己決定できる声かけ確認を行っている。	日々の会話の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様各々が自己決定できる声かけ確認を行っている。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日1日の大体の流れはあるが、散歩や買い物等、入居者様個々の希望や体調も考慮し、柔軟に対応している。	その日1日の大体の流れはあるが、散歩や買い物等、入居者様個々の希望や体調も考慮し、柔軟に対応している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝の洗面の他、月に1回訪問美容室に来訪していただき、希望に沿った髪型に散髪していただいている。また、希望者には行きつけの美容室へ行けるようにご家族様と協働し、支援している。	毎朝の洗面の他、月に1回訪問美容室に来訪していただき、希望に沿った髪型に散髪していただいている。また、希望者には行きつけの美容室へ行けるようにご家族様と協働し、支援している。	
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、クックチル(加熱処理後、急速冷却し、喫食時間に合わせて再加熱提供するシステム)を利用し、入居者様と職員が一緒に食事をしている。また、食事作りやおやつ作り等のレクリエーション時には、入居者様と一緒に作っている。	食事は、クックチル(加熱処理後、急速冷却し、喫食時間に合わせて再加熱提供するシステム)を利用し、入居者様と職員が一緒に食事をしている。また、食事作りやおやつ作り等のレクリエーション時には、入居者様と一緒に作っている。	食材はクックチルを利用し、職員が調理に関わる時間の省力化を図り、盛り付けのみで提供しており、介護を手厚くする意図がみられる。おやつ作りは入居者と一緒に作ったりする。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様1人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を提供している。	入居者様1人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診依頼を行っている。	毎食後は必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診依頼を行っている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し支援している。	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し、必要に応じて職員2人介助にてトイレ誘導を行っている。	入居者個々人の排泄パターンや習慣等を把握し、日中はトイレでの排泄支援を行っている。中にはオムツからトイレでの排泄に改善された方もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には、水分を多く摂っていただいたり、散歩や平行棒を用いた歩行訓練等の運動支援を行っている。	便秘気味の方には、水分を多く摂っていただいたり、散歩や平行棒を用いた歩行訓練等の運動支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。また、午前中の中入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。また、午前中の中入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	基本的に週3回の入浴としているが、希望すれば毎日入浴も可能としている。入浴を嫌がられる方には、無理強いをせず時間をかけて対応したり、清拭で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様各々の状態に応じて、午前・午後の休息時間を設けたり、安心して気持ちよく眠れるように室温・寝具調節に努めている。	入居者様各々の状態に応じて、午前・午後の休息時間を設けたり、安心して気持ちよく眠れるように室温・寝具調節に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様各々が服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できるように掲示すると共に、服薬介助時には必ず職員2人で声だし確認を行っている。また、内服薬の症状について随時、確認ができるようお薬ノートを整理し保管している。	入居者様各々が服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できるように掲示すると共に、服薬介助時には必ず職員2人で声だし確認を行っている。また、内服薬の症状について随時、確認ができるようお薬ノートを整理し保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割を日々の生活の中やレクリエーション等に活用し、気分転換が図れるように支援している。	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割を日々の生活の中やレクリエーション等に活用し、気分転換が図れるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出希望以外にも天候が良い日には、施設近隣に散歩へ出かけたり、ご自宅への外出を希望された際には、ご家族様や主治医の協力のもと外出できる機会を作っている。	外出希望以外にも天候が良い日には、施設近隣に散歩へ出かけたり、ご自宅への外出を希望された際には、ご家族様や主治医の協力のもと外出できる機会を作っている。毎週1回、ご家族様の協力のもと外食へ出かけられている方もいる。	ホームの敷地が広く散歩するには最適である。又、隣接のグラウンドでは桜の花見やスポーツ観戦をしたりしている。家族の協力の下に週1回外食したり、近くのスーパーへ買い物に出掛け地域の方と交流している入居者も居る。。月1回はホームの外出行事も実施している。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理能力のある方に関しては、近くのスーパーで買い物が出来る程度の金額をご家族様確認の上、所持していただいている。	金銭管理能力のある方に関しては、近くのスーパーで買い物が出来る程度の金額をご家族様確認の上、所持していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様が希望された際には、電話を取り次ぎ、手紙(便箋)を準備したりしている。	ご本人様が希望された際には、電話を取り次ぎ、手紙(便箋)を準備したりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを行ったり、入居者様に生けていただいた生け花を飾ったりと居心地の良い空間作りに配慮している。	季節に応じた飾り付けを行ったり、入居者様に生けていただいた生け花を飾ったりと居心地の良い空間作りに配慮している。	リビングは広々として南側は陽ざしが入り、窓越しに冬でも暖かい。季節の飾りつけや生花があり、和やかである。ゆったりしたソファや椅子を設え、家庭の応接間の雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を持ち込んでいただき、本人様の慣れ親しんだ環境作りに配慮している。	入居時には、ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を持ち込んでいただき、本人様の慣れ親しんだ環境作りに配慮している。	入居者の使い慣れた箸やカップ・家具を持ち込んで貰い、安心できる居室作りに取り組んでいる。自分で作った人形や毬等で飾ったり、明るいピンク色の持ち物で統一したり、写真や手紙で家族との絆を深める工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居時、ご家族様に同意をいただいた上で、各居室に各々のネームプレートを飾らせていただくと共に、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。	入居時、ご家族様に同意をいただいた上で、各居室に各々のネームプレートを飾らせていただくと共に、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)		○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
		2014/4/9		2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない